

Waka 塾テキスト

活動総論

【著作権について】

このテキストは、著作権法で保護されている著作物です。

このテキストの著作権は、合同会社アカデミアに属します。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

【使用許諾契約書】

本契約は、本冊子を購入した個人・法人（以下、甲と称す）と発行者（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に合意したことになります。

第1条：本契約の目的

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条：禁止事項

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条：損害賠償

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がありますのでご注意ください。

第4条：契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条：責任の範囲

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても乙は一切の責任を負いません。

ルックスについて

何でも良いとはいきませんが、あまり凝る必要もありません。

我々は、スペックではなく、中身、マインドで勝負するナンパ師です。

外見に凝ったマインドは、すでにズれています。

とはいっても、キモい・ダサい感じを出すのは、あまりにマイナス要素が強すぎます。

以前、凄腕ナンパ師が、わざとオタク系の服装で勝負するという企画がありましたが（笑）

最初のうちは特に、最低限のルックスを維持することは大切です。

ただ、注意することは、「男性側からみた最低ライン」と「女性側からみた最低ライン」が大きくかけ離れていることです。

女性側からの最低ラインを押さえなくては、意味がありません。

女性側からみた最低ラインは、男性側からみると、「お洒落」の範疇に入る可能性があることを、心得ておいてください。

あと、靴は意外にチェックされています。

いかにも安っぽい靴を履くのは避けましょう。

レザーのカジュアルシューズが最もおすすめです。

意外に見落としがちなのは、「爪」です。

爪は、多くの女子がしっかりチェックしています。

長かったり、汚れているのは論外。

たとえば、この部分が、女性の膣に入ると考えたらどうでしょう。

そういう視点で女子は爪を見ていることを意識してください。

※5ゲットまでのファッション

5ゲットまでの方は

「お兄系ファッション」

をしましょう。

これは、よりチャラさやSっ気が伝わりやすく、内面のしっかりした人間とのギャップが出やすいので、特にゼロイチの段階では有利に働きます。

具体的なファッションは、コンサル時にお聞きください。

対面1年コースの方は、ファッションコンサル時に、この話があると思います。

具体的には、新宿にある「マジックサンク」という店に行き、「お兄系ファッション」をすることになります。上下ともに黒いファッションが基本です。

特に、パンツは黒一択です。

※音声録音での注意

路上に出るときは、音声の録音が必須です。

そのため、音声録れる服装をする必要があります。

ICレコーダーは、基本、胸ポケットにしか入れません。他の場所だと上手く録れないからです。

すなわち、胸ポケットのついた服を着る必要があります。

夏場は、Tシャツ1枚の恰好をする機会もあるかもしれませんので、いかに胸か首回りにつけるかを考えていきましょう。

声かけ全般について

声かけは、ナンパの全てが詰まっていると言っても良いと思います

声かけだけでも、何十ページにも及ぶ内容があります。

それだけ、声かけは大事です。

ある凄腕ナンパ師が

「アプローチを制する者は、ナンパを制する」

と言っていたが、まさにその通りです。

まずは、ナンパにおいては、この声かけ（アプローチ）の部分を徹底的に鍛えることが大切です。

必ず合流する

ナンパは、一人でやるものと思っている人もいるかもしれません。

しかし、それは大きな間違いです。

理由は、一人で声かけすると、「自己流」になってしまうからです。

客観的に自分を見てくれる人がいないので、どんどん変な癖がついていきます。

一人で声かけする人が、なかなか成果を出せないのはこうした理由です。

3ゲットまでは、合流が必須です。

合流したら、初心者は合流者に指名してもらってください。そして、声かけのアドバイスも積極的にもらいましょう。

声かけに慣れてきたら、合流時の前半は指名、後半はソロという流れでやっても良いかと思っています。

合流の方法ですが、グループ LINE で合流者を募るのはやめて下さい。

既にグループ LINE に投稿している塾生の LINE アカウントを追加し、直接メッセージを送って合流して下さい。

あるいは、あらかじめ LINE 交換している塾生と、合流計画を立てていくのもお勧めです。

最初にシュートノックをする

当塾の声かけの流れは、最初にシュートノック行い、そのあとでストリートに出るという順番になっています。

シュートノックも合流が必須です。

路上に出たら、まずラブホテル街に行き、どんどんシュートノックをしましょう。

なお、シュートノックは、「**大の字**」で止めることが必須です。

大の字になっていないものは、シュートノックとは言いませんのでご注意ください。

シュートノックは3大マインド養成には欠かせません。最優先でやっていきましょう。

3ゲットまではシュートノックが必須となります。

声かけ人数について

ナンパは、声かけ人数に比例して、上達すると言われています。

どんなに効率よく学んだとしても、やはり声かけの経験が不足していると、上達しません。

特に、ナンパを始めた時期は、がっつり声かけをしましょう。

声かけ人数の目安は、最低、**月に200人**です（地方は100人でも可）。

例えば、週に2回のペースだと、1回あたり25人のペースになります。

週に1回だと、1回あたり50人です。

このペースだと、1年間に約2千人のペースになります。

トド、3Bに声かけする

3ゲットまでは、トド、3B（ブタ、ブス、ババア）の女性を通ったら、迷わず声かけしましょう。

このような女性に躊躇している人は、上達が遅れます。

美女をゲットしたい目標があっても、これらの女性への声かけは必須と思って下さい。

異性活動は、様々な女性についての経験値が大切です。この経験値が今後の土台になります。

偏った女性の経験値しかない、それがいつか成長の妨げになって降りかかります。

特に最初のうちは、これらの女性への声かけが必須だと思ってください。

「フロー状態」を意識する

あと、大切なことは、「フロー状態」を意識することです。

ナンパは誰でも、最初のうちは緊張もしているし、うまく声かけできていないことが多いです。

ある程度声かけをしていると、自分の中で、ナンパがしっくりくるようになり、相手の冷たい反応も気にならなくなります。1度ストに出たら、この状態になるまで、声かけをすることが大事になります。

最初の10人はウォーミングアップとしましょう。11人目からが本当の声かけと思うくらいがちょうどよいです。

止まっている子には声かけしない

よく、待ち合わせなどで止まっている子に声をかけるナンパ師がありますが、トラブルのもとです。

止まっている子は、周囲が見えているので、ナンパ師の行動の一部始終が目に入ります。

自分に声かけしてきた男が、他の女子に声かけしているのを見て逆上し、即座に通報したという事例もあります。

やはり、歩いている子に声かけするのが安全です。

立ち止まって物色しない

よく、街で見ていると、立ち止まって女子を物色しているナンパ師やスカウトを見かけます。

これはやめたほうがよいです。

理由は、目立つからです。止まっていると、通行人からは丸見えです。

いかにもナンパやスカウトをしているといった空気が出ています。

ターゲットからの印象が悪くなるのはもちろん、トラブルに巻き込まれやすくもなります。

怖いお兄さんや警察に連行されたというケースは、たいてい、1か所に止まってやっている連中です。

実際に物色するときには、歩いて流しながら物色します

でも、女子と目は合わせないほうが良いです

目が合ってしまうと、察しが良い子には気づかれてしまい、反応が悪くなります

広い場所ならば、街をぐるぐると徘徊しながら物色します。

セルフ・トークの大切さ

セルフ・トークとは、いわゆる、心の中での会話です。

自分に対する問いかけや声かけです。

よく、冷たい反応に対して、心が折れてしまい、そのままその日はナンパを辞めてしまう人も多いです。しかし、凄腕ナンパ師たちは、そこをうまく乗り切っています。それが、セルフ・トークです。

冷たい反応があった場合、自分はダメだと思ってしまうのではなく、プラスに考えるのです。

これを、NLP では、「リフレーミング」といいます。

この反応のおかげで、自分はまた凄腕への階段を1段登った。

貴重な経験ができた。

感情的にならず、冷静に対処できた。

など、自分に対して、褒めたりプラスになるトークを行います。

この習慣づけが、リカバリーの大きな原動力になります。

ガンシカや冷たい反応をする女子たちは、自分を鍛えてくれている貴重な存在です。

その程度の入り方では、反応に値しないと言っているわけです。

ガンシカや冷たい反応をする女子に対してさえ、感謝の気持ちを持つことが大事です。

凄腕ナンパ師も、最初からメンタルが強いからではなく、こうしたセルフ・トークなどを学ぶにしたがって、対処法を覚えているというのが実際のところです。

立ち位置

これは、意外に大事な要素です。

ナンパに慣れている人でも、これが未だにできていない人も多いです。

しっかりチェックしましょう。

まず、後ろから追走する場合、相手とすれ違ってから追いかけます。

そのとき、相手と目が合っていないことが条件です。

目が合ってから追いかけると、「そら来た」という具合になり、反応が極めて悪くなります。

相手に対峙するときは、**相手とは1メートル以上の距離**を取りましょう。

女子は、近い距離を嫌います。いきなりパーソナルスペースに入り込んでくる人間に対し、嫌悪感を抱きます。離れたところから、大きな声で声かけするイメージでやってください。

相手を追いかけるとには、相手の真後ろを追走します。

相手に追いついてから、横に出て、さらに前に出ます。

このとき、相手に身体を向けながら前に出ましょう（ヘソコンタクト）。

このとき、**相手から1メートル以上の距離**を取ります。

そして、相手から45度斜め前の位置になるくらいのところで、発声します。

真横から声をかける人がいますが、反応が悪くなります。

相手の視界に自然に入る位置が目安です。

首だけ向けて声かけする人がいますが、印象が良くありません。

自分は、相手に対して心を開いているということを、身体全体でアピールしていきます。

相手と45度になる位置に来たら、すぐに声かけする人が多いですが、これもダメです。

さらに、その位置から相手を凝視します（アイコンタクト）。

相手からこちらに視線が来るのを待ちます。それまで無言で良いです。タメを作りましょう。

相手からの視線が来たら、はじめて発声します。声を張りましょう。

これを意識するだけで、格段にガンシカが減ります。

姿勢

これも大事な要素です。

声かけするときは、しっかり胸を張りましょう。堂々とした雰囲気を出すことが大切です。

おじぎをしたりすると、媚びた感じになるのでやめましょう。

あと、体の軸がぶれる人がいますが、これもダメです。

よく、自分が背が高いからといって、相手をのぞき込むような姿勢で声かけする人がいますが、印象は良くありません。

発声

声は大事ですね。何より大事なのは、声を張ることです。

よく、ぼそぼそ声の人がいますが、それだけで自信がないような印象を与えてしまいます。

相手の後ろにもう一人、人がいて、その後ろの人めがけて声かけする感じです。

大声で相手にぶつけていきましょう。

表情

誠実系ナンパでは、笑顔が大事とか言われますが、全くその必要はありません。

むしろ、笑顔で声かけした日には、スカウトかキモいおっさん感が満載です。

これは、誠実系が普通の会話しかできないので、せめて笑顔くらいはという、媚びたマインドです。

ただ、柔らかい表情は大事です。こちらがオープンしていることを示すためにも、硬い表情ではなく、柔らかい表情を心がけましょう。